

2016年
10/8(土)9(日)

第13回 子ども学会議 (日本子ども学会学術集会)

長寿社会の 子どもと情報学

- 家族・地域・メディアとつくる子どもの未来 -



- 会 場：静岡大学 浜松キャンパス (静岡市・静岡キャンパスではありませんのでご注意ください)
〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1
JR 浜松駅から遠鉄バス15・16 乗り場の全路線で「静岡大学」下車 (所要20分)
- 大会長：竹林 洋一 (静岡大学教授)
- 参加費：【事前】 学会員 3,000 円、一般 4,000 円、学生 2,000 円、懇親会 5,000 円
【当日】 学会員 4,000 円、一般 6,000 円、学生 2,000 円、懇親会 5,000 円
- 主催：日本子ども学会
- 共催：静岡大学情報学部
- 協賛：情報処理学会、人工知能学会、映像情報メディア学会、
ヒューマンインタフェース学会、静岡県立大学、静岡文化芸術大学
浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、静岡大学
- 後援：浜松市、常葉大学 (浜松キャンパス)

1日目
10月8日(土)

Program

2日目
10月9日(日)

09:30	受付
10:00	オープニング
10:15	基調講演「未来に生きる子どもたちのために —おとなは何がしたいのか?—」 安西 祐一郎 (平成27年度文化功労者、日本学術振興会理事長、前中教審会長、前慶應義塾長)
11:55	ポスター概要発表セッション
12:30	お昼休憩
13:30	総会
14:10	シンポジウム1「童心と老成をつなぐ情報学 —長寿社会の子どもが築く未来の地域と文化—」 座長： 沢井 佳子 (チャイルド・ラボ所長、静岡大学客員教授) シンポジスト： 鈴木 康友 (浜松市長) 安西 祐一郎 (日本学術振興会理事長) 榊原 洋一 (日本子ども学会理事長、お茶の水女子大学副学長) 竹林 洋一 (静岡大学教授) コメンテーター： 鬼頭 宏 (静岡県立大学学長)
15:50	ポスターセッション (前半・後半各50分)
18:00	イブニングセッション (懇親会)

09:00	特別講演「Three Births of Life (人生における3つの誕生) —「あなたは大切な存在です」と伝えるための哲学・技術・科学—」 Yves Gineste (認知症ケア技法 Humanitude 考案者、静岡大学客員教授)
10:40	シンポジウム2「特別でない特別支援教育—学習障害・ディスレクシア当事者と考える、これからの特別支援教育と合理的配慮について—」 座長： 中井 昭夫 (子どもの睡眠と発達医療センター 副センター長) シンポジスト： 砂長美ん (美んちゃん、成人当事者) あーちゃん (高校生当事者) 河野 俊寛 (金沢星稜大学 人間科学部教授)
12:10	お昼休憩
— 以下のプログラムは無料です。 —	
13:10	大会長講演「情報学が拓く長寿社会」 竹林洋一 (静岡大学教授)
14:20	市民公開講座「“気づき”を育む多世代交流—インタラクションの仕掛け創り—」 座長： 石川 翔吾 (静岡大学助教) シンポジスト： 伊熊 規行 (浜松市子ども家庭部部長) 本田 美和子 (東京医療センター総合内科医長) 桐山 伸也 (静岡大学准教授) 沢井 佳子 (チャイルド・ラボ所長、静岡大学客員教授) 朝倉 民枝 (グッド・グリーンフ代表取締役) 佐藤 朝美 (愛知淑徳大学講師) コメンテーター： 榊原 洋一 (お茶の水女子大学副学長)
16:20	閉会

参加申込み・お問い合わせ
「日本子ども学会」ホームページ

<http://www.blog.crn.or.jp/kodomogaku/02/13.html>

会場の定員は600名です。事前の登録をお勧めします。なお、定員を超えた場合は、入場をお断りする場合がございますことを予めご了承下さい。